

こんにちは、独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA：エルカ）です。

研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているプログラムオフィサー（PO）が、  
推進費申請のコツや工夫、注意すべきポイント等を連載でお伝えしています。  
令和 8 年度新規課題の応募に向けて、ぜひご活用ください！

---

## ■環境研究総合推進費における“必要性”とは

---

推進費の応募課題の審査の観点の一つである“必要性”では、  
応募課題の「環境行政上の意義」「科学的・技術的意義」が明確であることを求めています。

### ○環境行政上の意義

「なぜ環境政策にこの応募課題が必要か」を  
環境省が提示する重点課題（対応が必須）や行政要請研究テーマ（対応は必須ではない）  
との関係を明確に示すことで環境政策課題への貢献を説明してください。

評価委員の高評価を得るには、  
重点課題や行政要請研究テーマの重点と皆さんの応募課題の重点の関係を  
上手に説明する必要があります。

なお、評価委員の全員が皆さんの応募課題に精通しているとは限りませんので、  
冗長ではなく理解しやすい説明が必要です（時には図などを使うことも可能）。

重点課題の具体的説明は、環境研究・環境技術開発の推進戦略（令和 6 年 8 月 23 日）  
（<https://www.env.go.jp/policy/tech/kaihatsu/r6suisinsenryakuhonnbnun.pdf>） の p.13 以降に、  
行政要請研究テーマの課題名とその具体的説明は、  
公募要領別紙 1（<https://krs.bz/erca/c?c=50&m=286&v=4a95d2cb>） の p.16 以降に  
掲載されています。

### ○科学的・技術的意義

「皆さんの応募課題が、既存研究では達成できていない部分」を探求し、  
新規性・独創性に繋がることを説明してください。

応募課題の分野での先行研究の進捗状況を、  
研究レビューによって説明することは勿論ですが、  
推進費の既存研究の中の類似研究でどのような成果が得られているかを説明することも必要です。

推進費既存研究の探索は、当機構の推進費研究課題データベース  
(<https://krs.bz/erca/c?c=51&m=286&v=d1e6381f>)  
で検索可能です。

いままで応募課題を拝見してきて、  
上記 2 つの対応が上手に取られていた課題は採択される確率が高かったと思います。

皆さんからの多くの応募をお待ちしています。

---

今回は「審査の観点：必要性」についてのお話でした。  
PO が示している 3 つのリンク先で詳細をご確認ください。

次回は「審査の観点：有効性」を配信の予定です。  
楽しみにお待ちしております。

※本連載では各 PO からのメッセージを連載でお届けしております。  
文体や表現方法に違いがある場合がございます。

多くの皆さまの、環境政策へ貢献する研究提案を心よりお待ちしております。  
公募期間：9 月 8 日（月）～10 月 10 日（金）14 時  
<https://krs.bz/erca/c?c=52&m=286&v=a7030122>

【公募全般に関するお問合せ先】

[suishinhi-koubou@erca.go.jp](mailto:suishinhi-koubou@erca.go.jp)

件名の先頭に【公募問合せ】と記入していただけますと幸いです。

---

■独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA）

環境研究総合推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番

ミューザ川崎セントラルタワー9 階

■メールマガジン配信停止について

配信停止を希望される方は、次の配信解除フォームよりお申込みください。

<https://krs.bz/erca/m?f=187>

---

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

★PO が語る！ Vol.05★ その研究、なぜ必要なのか？

2025/9/26 配信

ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

※このメールに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

<https://www.erca.go.jp/erca/mail/index.php?conf=suishinhi>